



株式会社エトウ様に対する 『114 サステナブルベーシックローン』の実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は2026年6月18日（木）、福岡支店取引先 株式会社エトウ（福岡県大川市 代表取締役 山崎 彩）に対し『114 サステナブルベーシックローン（※1）』を実施しましたのでお知らせします。

今回、株式会社エトウは、『売上高当たりの電力使用量の削減』を SPTs（※2）に定めました。当行はお客様の企業戦略に即した SPTs の達成状況に応じて貸出金利を優遇することで、目標達成に向けた動機付けを行い、サステナブル経営を後押しします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客様の SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

（※1）環境・社会課題の解決に資する取組みを、自社の実績を基準に目標値を設定し、達成状況に応じて貸出金利を優遇する当行独自のローン商品。第三者評価機関からのセカンドオピニオン取得が必要となる、サステナビリティ・リンク・ローンに比べ、多くの企業が取り組みやすい設定としている。

（※2）Sustainability Performance Targets（環境や社会課題に対しポジティブな影響をもたらす企業目標）

記

1. 企業の概要

会 社 名 株式会社エトウ
所 在 地 福岡県大川市鐘ヶ江 227-2
業 種 家具卸売業

【サステナブルな取組み】

当社は1920年に創業し、今年で106年を迎えました。製材業からスタートし、家具製造を経て OEM・ODM 事業（※3）へと時代に合わせて事業を進化させてきました。現在は3か国に海外拠点をもち、グローバルに事業を展開しています。大川の地で受け継いだ職人技術と木材への深い知見を礎に、デジタル技術との融合や持続可能な素材の活用など、新たなことに挑戦しています。今回、『売上高当たりの電力使用量の削減』を SPTs に設定することで、環境負荷の低減及び環境配慮型事業の創出をめざします。



（※3）OEM（相手先ブランドによる製造受託）・ODM（設計・開発から製造までを一括して受託し、相手先ブランドで販売される形態）事業。

2. SPTs について

売上高当たりの電力使用量の削減

以上